

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-121	小学校	生活科	生活	1・2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	生活 101 102	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下		

1 編修の基本方針

—— 豊かな学びが未来を拓く ——

生活科の「学び」をすべての人へ

「いっしょにやろうよ!」「楽しいね!」生活科の学習では、生き生きと活動や体験に取り組む児童の姿が見られます。そこでは「こうしたらいいよ。」「もっとやろうよ。」など、よりよい生活に向けて思いや願いを実現する、豊かな学びが行われています。

小学校1・2年生での、生活科の豊かな学びは、中学年、高学年、中学校以降での意欲的な学びにつながり、児童が未来社会を切り拓く力の素地となっていくます。

そこでわたしたちは、児童はもちろん、保護者や先生方など、児童の学びを支えるすべての人が生活科の「学び」を共有し、連携できるよう、下記の特色に基づいて本教科書を編修しました。

特色

1

生活科の
学びが見える
教科書です。

生活科で、何ができるように
なるのか、育成を目指す**資質・
能力**を具体的に示しています。



特色

2

保護者と
一緒に開く
教科書です。

保護者や地域との連携・協働
を促し、**社会に開かれた教育
課程**の実現を目指しています。



特色

3

豊富な資料で
学びを支える
教科書です。

児童の主体的な学びを支え、
教員を支援し、教員が児童と
向き合う時間を増やします。



生活科の学びが見える教科書です。

1 生活科で育成すべき「資質・能力」(何ができるようになるか)を吹き出しで具体化しました。

これまで教科書が掲載してきた「学習内容」に加え、新しい学習指導要領で育成が目指されている、資質・能力の三つの柱(「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」)を、吹き出しや表現作品で具体化しました。生活科で「何をやるのか」、「何ができるようになるか」がひと目でわかります。

学習内容

何をするのか

教師の発問例

児童が見方・考え方を生かしている姿を描く、下段の学習過程コーナー

▲上 p.18-19

資質・能力

思考力、判断力、表現力等の基礎

知識及び技能の基礎

学びに向かう力、人間性等



児童が学びの見通しをもつことができます。



先生方が指導計画を作成したり、学習評価をしたりする際にも役立ちます。

2 生き生きとした、ダイナミックな活動の写真を掲載しました。

児童の意欲を喚起し、知的好奇心を刺激する、質の高い活動の写真を掲載しています。



▲上 p.57

だ・か・ら A4 判!

「何ができるようになるか」を、分かりやすく掲載したり、写真をダイナミックに掲載したりするため、A4サイズを採用しました。ランドセルや机への収納に配慮するとともに、軽量の専用用紙を開発し、児童の負担軽減に取り組んでいます。

保護者と一緒に開く教科書です。

1 スタートカリキュラムを生活科の学習活動中心に編成し、すべての学校で適切に実施できるようにしました。

上巻巻頭の「ときどき わくわく | ねんせい」では、スタートカリキュラムで行われる活動を具体的に示し、児童が安心して学校生活を送ることができるようになっています。



ページ下段に保護者向けのメッセージを入れ、児童と保護者が一緒に教科書を開き、学校生活への期待を高めることができるようにしています。

保護者向けのメッセージ



▲上 p.4-5

2 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体化しました。

スタートカリキュラムでは、幼児期に育まれた資質・能力を小学校でも発揮し、さらに伸ばしていくための工夫が行われます。幼稚園教育要領等で定義された、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、入学当初の学習で発揮されている主な例を、イラストと保護者向けのメッセージで示しています。



▲上 p.8

総則に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導」を行う際、先生方にもご活用いただけます。

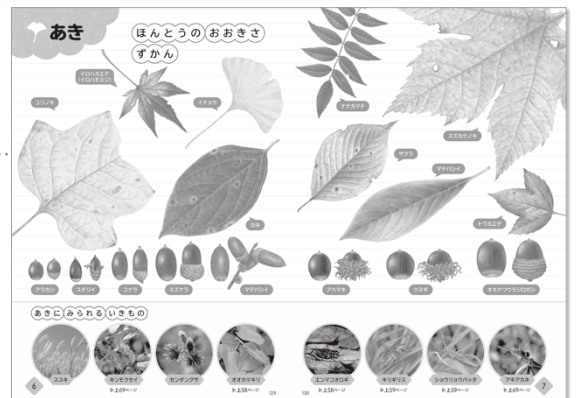


豊富な資料で学びを支える教科書です。

1 切り離して屋外に持ち出せる「ほんとうのおおきさ ポケット ずかん」を新設しました。

上巻巻末に、春、夏、秋、冬の季節に見られる主な動植物を実物大で描いた図鑑を新設しました。切り離して屋外に持ち出すことができ、学習効果を高めます。(そのまま閲覧することもできます。)

上ポケットずかん p.6-7 ▶



だ・か・ら A4 判！

保護者向けのメッセージを入れたり、季節の動植物を実物大で描いたりするのに、A4サイズの大きな紙面を採用しました。

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	●生活科で育成すべき 資質・能力 を，児童の発達に配慮しながら，適切に育成できるように，上下巻の学習活動を構成し，主体的・対話的で深い学びを通して，幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。(第1号)	全体
	●身近な自然に親しむ活動や自分のよさや可能性に気付く活動を掲載したり，挨拶や言葉遣いなど生活上必要な習慣に関する資料を掲載したりするなど，生活科の特質に応じた， 道徳教育 の充実に配慮しました。(第1号)	上12～13，42～43， 下100～101
	●自然災害，交通災害，人的災害の3つの観点から，安全に関する学習活動や資料を豊富に掲載し， 防災を含む安全に関する教育 の充実に配慮しました。(第1号)	上22～25，下4
上巻	●家庭における自分の生活を見つめ直し，規則正しく健康に気を付けて生活できるようにする学習活動を掲載するなど， 心身の健康の保持増進に関する教育 の充実に配慮しました。(第1号)	上83～89
	●生き物に親しみ，大切にすることを育成するため，1年生の発達に合わせ，身近な動植物の飼育・栽培活動を取り上げるなど， 生命の尊重に関する教育 に配慮しました。(第4号)	上27～39，57～67
	●身近な自然を利用して，思いきり遊んだり，遊びに使う物をつくったりする学習活動を豊富に掲載するなど， 環境に関する教育 の充実に配慮しました。(第4号)	上40～52，66～81
下巻	●身近な地域で働いたり，生活したりしている人々と繰り返し関わることを通して，それらの人々と自分の生活との関わりを理解するなど， 郷土や地域に関する教育 の充実に配慮しました。(第5号)	下23～32
	●身近な地域で働いている人々と繰り返し関わることを通して，あこがれの気持ちや親しみ，愛着がもてるようになる活動を掲載するなど， キャリア教育 の充実に配慮しました。(第2号，第3号)	下71～89
	●昔から伝わる遊びや，地域の行事，節気・節句の象徴などを豊富に掲載するなど，日本の 伝統や文化に関する教育 の充実に配慮しました。(第5号)	下6～7，44～45， 66～67

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 すべての児童が使いやすい紙面への配慮

① ユニバーサルデザイン

- 掲載されている全ての文字を，**ユニバーサルデザインフォント**で統一しています。
- 色覚の多様性に配慮し，**カラーユニバーサルデザイン**の観点から，配色およびデザインについて，全ページにわたって専門家による検証を行っています。
- 特別な支援が必要な児童も含め，すべての児童が分かりやすいよう，小単元名，手洗いマーク，やくそくなどをいつも同じ位置に配するなど，**レイアウト**を工夫しています。
- 海外から帰国した児童や外国人の児童**が判読しやすいよう，すべての漢字にルビを付し，文節で改行しています。

② 人権上の配慮

- 写真や挿絵で登場する児童や地域の人，家の人の数や役割などを，性別による偏りなどのないよう配慮しています。
- 外国にルーツのある児童や，障害のある児童などをさりげなく登場させるなど，**多様な他者との協働に関する教育(インクルーシブ教育)**に配慮しています。

③ 造本

- 製紙会社と協同で**軽くて丈夫な紙**を開発し，児童が教科書を持ち運ぶ際の負担軽減に取り組んでいます。
- ランドセルや机への収納にも配慮した，**A4サイズ**の大きな紙面を採用しています。

2 今日の課題への取り組み

① 学習の基盤となる力

- 児童と教員が会話する際の言葉遣いを、正しい敬体に統一するなど、適切な**言語環境**の例を掲載したり、児童がコミュニケーションを通して活動を展開していく過程を掲載したりなど、**言語能力**の育成に配慮しています。(下 86 等)
- 教員と一緒にインターネットを活用する場面を掲載したり、保護者と一緒に活用できるデジタルコンテンツを用意したりなど、**情報活用能力**の育成に配慮しています。(上 63, 下 85 等)
- 児童が友達と協働しながら、問題を解決していく過程を随所に掲載するなど、**問題発見・解決能力**の育成に配慮しています。(下 26-27 等)

② カリキュラム・マネジメント

- 他教科で身に付けた資質・能力を、生活科の中で活用することで、学習の効果が高まる活動では、紙面右端に他教科で身に付けたことを表すミニ図鑑を掲載するなど、他教科等との**合科的・関連的な指導**を促すとともに、教育課程全体を見通した**カリキュラム・マネジメント**に配慮しています。(下 15, 31 等)

③ 学力向上

- 三つの柱で整理された生活科で育成すべき資質・能力を、具体的な児童の姿や表現作品として具体化し、掲載しています。**生活科で身に付ける学力**とは何かが、ひと目で分かるように配慮しています。(上 18-19 等)
- 国語科や算数科など、他教科で身に付いた資質・能力を、児童の具体的な思いや願いを実現する中で活用できるように学習活動を設定しており、**他教科の学力向上**にも寄与できるように配慮しています。(下 15, 31 等)

④ 家庭との連携

- 保護者にスタートカリキュラムの趣旨を伝えたり、動くおもちゃの材料を集める際の注意を伝えたりするメッセージを掲載し、**家庭との連携**を促すことができるように配慮しています。(上 1, 下 56)

⑤ その他の課題

- 上巻巻頭に、生活科を中心としたスタートカリキュラムを具体化した小判ページ「どきどき わくわく | ねんせい」を掲載するなど、**幼児期の教育との接続**に配慮しています。(上 1-13)
- 生態系へ影響を与えることが報告されている「アメリカザリガニ」を飼育する際の注意事項を掲載し、**外来種**の適切な関わり方を身に付けることができるようにするなど、**環境教育**や**ESD**に配慮しています。(下 43)

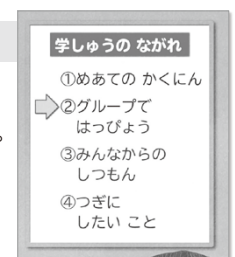
3 その他の取り組み

① 教員支援

- 動くおもちゃのつくり方や、飼育・栽培方法の資料など、準備に時間のかかる資料を豊富に掲載することで、**教員が児童と直接向き合う時間を増やす**ことができるように配慮しています。(下 56-58)
- 教科書紙面に、教員の発問例や板書例を掲載し、**教員の指導力向上**に役立つよう配慮しています。(下 38, 86 等)

② 特別な支援が必要な児童への指導

- その時間の学習の流れを示したホワイトボードを挿絵で描き、落ち着いて学習活動を行うことができるような工夫を例示するなど、**授業のユニバーサルデザイン**に配慮しています。(上 52, 下 76 等)
- 学習の振り返りの場面において、学習経過の分かる写真をテレビ等に映すなど、多様な児童が十分に学びを確保できるように配慮しています。(上 52, 下 76 等)



▲下 p.76

③ ICT の活用

- デジタルカメラやタブレット PC を活用して、栽培している植物を記録したり、まち探検で見付けたことを交流したりするなど、生活科の特質に応じて、**ICT 機器**を適切に活用できるように配慮しています。(下 12, 86 等)

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-121	小学校	生活科	生活	1・2
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	生活 101 102	どきどき わくわく あたらしい せいかつ 上 あしたへ ジャンプ 新しい 生活 下		

1 編修上特に意を用いた点や特色

特色
1

生活科の学びが見える教科書です。

1 イラストの登場人物を通して、資質・能力が育成される姿を描きました。

単元ごとに、中心的に活躍する登場人物を設定しました。彼らが2年間にわたり、思いや願いを実現していく過程を通して、生活科で育成すべき資質・能力が見えてきます。

扉ページでは、その単元で活躍する登場人物を紹介しています。



〈下巻「どきどき わくわく まちたんけん」における、「りん」の学び〉

▼下 p.23 (扉ページ)



日常における、ふとした興味をもとに、

▼下 p.26



自分たちで探検の計画を立て、(思考力、判断力、表現力等の基礎)

▼下 p.28



人との適切な関わり方を身に付けながら探検し、(知識及び技能の基礎)

▼下 p.31

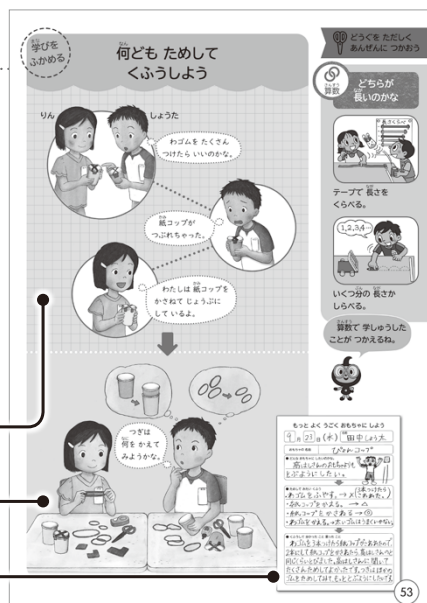


自分の生活をもっと楽しくしようとする。(学びに向かう力、人間性等)

2 生活科の「深い学び」を具体化しました。

生活科における、主体的・対話的で深い学びの学習過程を例示した「学びをふかめる」コーナーを新設しました。生活科の「深い学び」を具体的にイメージすることができます。

- 対話しながら学びを深めている姿
- 学びを深め、新たな活動に向かう姿
- 気付きの質を高める表現活動の例



▲下 p.53

3 他教科等との関連的な指導の例を掲載しました。

他教科等の学習成果を生かすことが効果的な活動の例を、紙面右端に掲載しています。他教科等の資質・能力との関係を具体化することで、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの参考になり、国語科や算数科等の学力向上にもつながります。



▲下 p.31

4 生活科の2年間の学びを、上下巻の構成で表現しました。

入学

① スタートカリキュラムから各教科へ

スタートカリキュラムでは、総合的に学ぶ幼児期の教育に近い活動が行われます。その合科的・関連的な学習の中にある、他教科等の学習につながる「芽」を抽出し、まとめた「つながる ひろがる」ページを新設しています。



▲上 p.10

② 上巻前半では、幼児期の学びを土台に学習がスタート

幼児期の学びや育ちを生かして、生活科の学習が展開される様子を例示し、児童が幼児期の遊びを通じた総合的な学びから、小学校の自覚的な学びに向かうことができるようにしています。



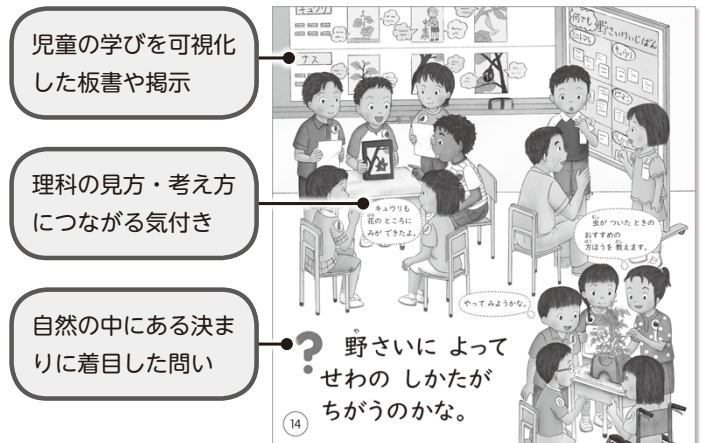
▲上 p.27



▲上 p.40

③ 下巻では中学年以降の学習への接続に配慮

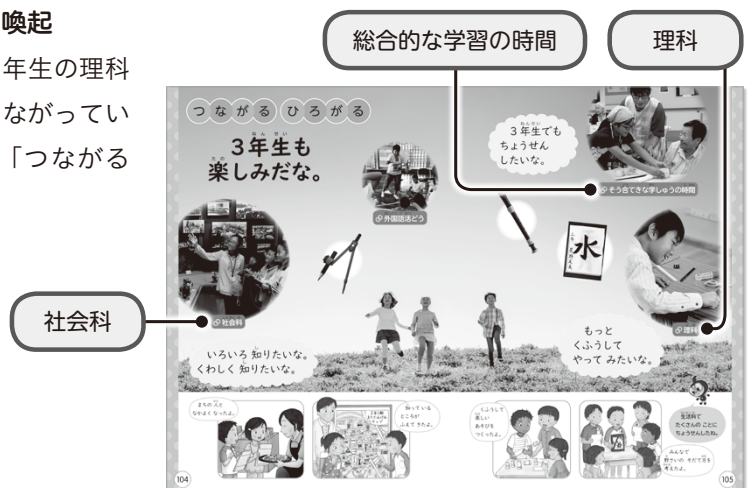
下巻（2年生）では中学年以降の理科や社会科につながる学びを意識し、思いや願いのもち方や、活動の質などが、発達の特徴に応じて高まっていくよう、構成しています。



▲下 p.14

④ 下巻巻末では、3年生の学習への意欲を喚起

生活科で育成された資質・能力が、3年生の理科や社会科、総合的な学習の時間などにつながっていくイメージをもてるよう、下巻巻末に「つながる ひろがる」ページを新設しています。



▲下 p.104-105

一年生

二年生

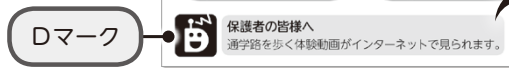
三年生へ

2

保護者と一緒に開く教科書です。

1 保護者と一緒に活用する「Dマーク」コンテンツを充実させました。

保護者と一緒に活用できる、ウェブ上のコンテンツがある箇所には教科書紙面上に「Dマーク」を付しています。目次にあるQRコードやURLからアクセスすることができます。保護者と一緒に閲覧することで、学びの共有やメディアリテラシーの習得にもつながります。



▲上 p.25



▲ウェブ上のコンテンツのイメージ

3

豊富な資料で学びを支える教科書です。

1 巻末に、生活科の活動が広がる「かつどう べんりてちょう」を設けました。

上下巻の巻末に、生活科の活動を通して必要になる習慣や技能、学び方などをまとめた資料ページを設けています。活動に応じて参照し活用することで、豊かな活動を展開することができます。これらの習慣や技能、学び方は、3年生以降の学習の素地となります。

気付いたことをもとに考え、気付きの質を高めることにつながる「見付ける、比べる、たとえる」と「試す、見通す、工夫する」などの学習活動を、具体的な活動にして掲載



このページは、深い学びへのヒントになります。

下 p.122-123

比べる

● やってみよう 考えよう

今までに見つけたことや新しく見つけたことをつなげて考えてみよう。

【見付ける】

ならべて見つける

わたしのびんは、新しいはを飲べるよ。

見て比べてみよう。

※にているところをさがそう。
※ちがうところをさがそう。

【たとえる】

知っていることであらわす

ぼくは、アスを飲んでいるね。

※知っていることとにているところをさがしてみよう。

【くらべる】

地図をつくる

わたしのまわりには、お店が多いんだね。

※見つけた場所をまとめてみよう。

日づけてならべる

こんなふうには、お花が咲いてきたんだね。

※日づけて、じゆんじゆんならべてみよう。

なかまをつくる

おんなじおんなじの、お名前をさがそう。

※にているところとちがうところをさがして、なかまをつくってみよう。

じゆん番をつくる

おんなじおんなじの、お名前をさがそう。

※どんなことでもならべたらいのかな。 ※どうしてそのじゆん番にしたかを話そう。

2 ポイントを簡潔に示した「やり方」を掲載しました。

児童の活動を限定しないよう配慮して、栽培方法や飼育方法、製作方法などの資料を豊富に掲載しています。

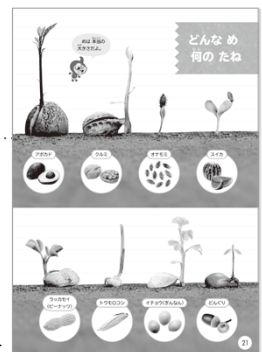
下 p.56



3 知的好奇心を刺激する資料を豊富に掲載しました。

見慣れた「たね」が生命の源であることに気付くきっかけを提示しています。

下 p.21



観点別特色の一覧

<p>教育基本法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第2条各号に掲げられた「教育の目標」の達成に資するよう、生活科の目標及び内容に照らして、学習活動や学習材が適切に選定、配列されている。(全体)
<p>学校教育法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育法第30条2項に掲げられた目標の達成に資するよう、生活科で育成すべき「資質・能力」の3つの柱が、児童の姿や吹き出し、表現作品などに具体化され、もれなく、適切に配列されている。(全体)
<p>用紙・印刷・造本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●資料性、閲覧性、視覚的効果が高く、ランドセルや机への収納にも配慮されたA4サイズの紙面が用いられており、2年間の使用を想定して、堅牢に製本されている。 ●自社開発した軽量の専用用紙が用いられ、低学年児童の持ち運びに配慮されている。 ●必要に応じて切り離し、屋外に携行することができる“ポケットずかん”が設けられている。(上巻巻末)
<p>選択・程度・分量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の多様な思いや願いに応えられるよう、学習材が豊富に掲載されている。(上28-29、下24-25等) ●各学校における「カリキュラム・マネジメント」に資するよう、年間35週を一般的な月別週数で均等に割り振り、年間指導計画が設定されている。 ●児童の興味・関心に応じて、選択的・発展的に活用することができる“やってみよう”が、随所に設けられている。(上64-65、90-91、下20、32、89等)
<p>組織・配列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各学校における「カリキュラム・マネジメント」に資するよう、学習指導要領の内容のまとまりごとに単元を設定し、柔軟に単元を組み替えることができる。(全体) ●低学年児童の2年間の発達や成長に合わせるため、季節の流れに寄り添いながら、上巻は1年生、下巻は2年生の学習から組織され、18の単元が、適切な順序で配列されている。(全体) ●「複式指導」に対応できるように、内容のまとまりごとに単元が設定され、学級の実態に応じて柔軟に組み替えることができるようになっている。(全体)
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●掲載されている活字はすべて、字形の正しさにも配慮された、教育用のユニバーサルデザインフォントが使用されている。 ●上巻と下巻で本文の大きさを変えるなど、低学年児童の発達に合わせて、読みやすい大きさの文字が使用されている。 ●挿絵は、すべての児童が落ち着いて学習に取り組むことができるよう、落ち着いた色合いで描かれ、紙面全体が淡い色調で統一されている。
<p>資質・能力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領の9つの内容ごとに明示された、「資質・能力」の3つの柱、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」が、児童の挿絵や写真、吹き出し、表現作品などを使って具体化され、掲載されている。(上18-19等)
<p>幼児期の教育との接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●幼児期の教育を通して、資質・能力が育まれている幼児の具体的な姿として示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が、小学校入学直後の児童の姿を表した挿絵と、保護者向けの解説で具体的に提示されており、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を行うことができるように配慮されている。(上1-9) ●入学当初の「スタートカリキュラム」が、生活科を中心に「合科的・関連的な指導」を行う「カリキュラム・マネジメント」のひとつとして、具体的に提示されている。(上1-13)
<p>中学年以降の教育への接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●下巻に掲載されている2年生の単元は、1年生での学びを土台に、抽象化・一般化が高まる中学年以降の学習を見通して構成されている。(下47-58、81-89等) ●下巻巻末に、生活科で育んだ資質・能力と、3年生以降の学習とのつながりをイメージできる特設ページ“つながるひろがる”が設けられている。(下104-105) ●各巻巻末に、中学年以降の学習の素地にもなる「学び方」をまとめた、“かつどうべんりてちょう”が設けられている。(上115-122、下107-128)
<p>身近な生活に関わる見方・考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとするという、「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かして活動してる児童の姿が、学習活動ページの下端に記された学習過程の場面などに具体的に例示されている。(上18-19、下12-13、28-29、38-39、50-51、62-63、74-75等)

学習方法 <small>(主体的・対話的で深い学びの実現)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ●生活科における「主体的・対話的で深い学び」が実現されている場面を，“学びをふかめる”というコーナーで具体化している。「身近な生活に関わる見方・考え方」を生かしながら，児童が表現・交流活動を行い，気付きを関連付けて，より質の高いものになっている姿が例示されている。(下 14-15, 52-53, 76-77 等)
他教科等との 合科的・関連的な 指導	<ul style="list-style-type: none"> ●国語科や音楽科，図画工作科との関連を図った表現活動例や製作活動例が豊富に掲載されている。(上 5, 7, 9, 20, 32, 37, 73, 76-77, 103, 112, 下 48-49 等) ●国語科や算数科で育まれた資質・能力を，生活科の中で生かすためのヒントが掲載され，互いの教科の資質・能力を高め合うことができるよう工夫されている。(下 15, 31, 53)
障害のある 児童への指導	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の流れを示した掲示物が挿絵の中に描かれているなど，「授業のユニバーサルデザイン」に配慮されている。(上 52, 下 76)
表現・交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ●上巻では，対象と直接関わる体験活動と，気付いたことを表現・交流する表現活動を一体的に扱うとともに，季節のまとまりごとに，児童の発達に合ったまとめ活動が例示されている。(上 52, 74, 104) ●下巻では，体験活動と表現活動が交互に繰り返され，気付きを自覚したり，関連付けたり，視点を変えて捉え直したりすることで気付きの質を高め，“深い学び”を実現する学習活動が例示されている。(下 14-15, 26-27, 76-77, 82-83, 100-101 等)
気付いたことを基に 考える学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ●下巻巻末の“かつどう べんりてちょう”に，「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」など，気付きを関連付け，気付きを質的に高めるための学習活動をまとめたページが設けられている。(下 122-123, 124-125)

2 対照表

上巻 (合計 102 時間)

配当学期	時数	単元名	関連する主な内容	関連する内容の取扱い	該当ページ	
1 学期	前期	8	どきどき わくわく 1ねんせい	(1)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	1~13
		12	がっこう だいすき	(1)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	14~26
		8	きれいに さいてね	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	27~39
		8	なつが やってきた	(4) (5) (6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	40~56
2 学期	後期	6	いきものと なかよし	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	57~65
		21	たのしい あき いっぱい	(5) (6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	66~82
12		じぶんで できるよ	(2)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	83~91	
3 学期		9	ふゆを たのしもう	(4) (5) (6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	92~104
	18	もう すぐ 2ねんせい	(8) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	105~114	

下巻 (合計 105 時間)

配当学期	時数	単元名	関連する主な内容	関連する内容の取扱い	該当ページ	
1 学期	前期	6	春だ 今日から 2年生	(3) (5) (9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	1~8
		10	ぐんぐん そだて わたしの 野さい	(7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	9~22
		10	どきどき わくわく まちたんけん	(3)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	23~32
		10	生きもの なかよし 大作せん	(5) (7)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	33~46
2 学期	後期	12	うごく うごく わたしのおもちゃ	(6)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	47~58
		6	みんなでつかう まちのしせつ	(4)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	59~70
		12	もっと なかよし まちたんけん	(3)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	71~80
12		つながる 広がる わたしの生活	(3) (8)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	81~94	
3 学期	27	あしたへ ジャンプ	(9)	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	95~106	